連絡先・アクセスマップ

海老名本部 〒243-0435 海老名市下今泉705-1

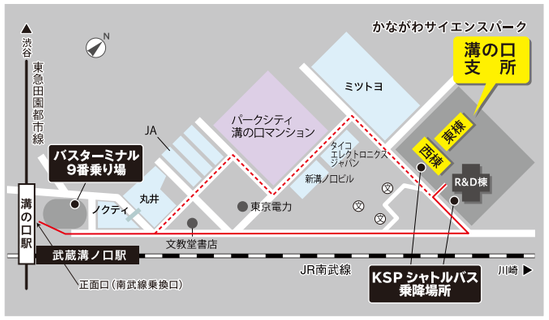
TEL:046-236-1500(本部代表)
FAX:046-236-1525

●小田急線、相模鉄道線「海老名駅」から徒歩約18分
JR相模線「海老名駅」から徒歩約15分

溝の口支所 〒213-0012 川崎市高津区坂戸3-2-1 かながわサイエンスパーク(KSP)内

TEL:044-819-2030(支所代表)

●東急田園都市線・大井町線「溝の口駅」／
JR南武線「武蔵溝ノ口駅」から徒歩約15分
●バスターミナルから、KSPシャトルバス(直通)あり
(午前10時以降利用可)



殿町支所 〒210-0821 川崎市川崎区殿町3-25-13 川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)内

〒210-0821 川崎市川崎区殿町3-25-22 ライフイノベーションセンター(LIC)内

〒210-0821 川崎市川崎区殿町3-25-10 Research Gate Building TONOMACHI2(RGB2)内

●京急大師線「小島新田駅」から徒歩約15分
JR「川崎駅」より路線バスあり
●東京モノレール「天空橋」駅から路線バスあり

横浜相談窓口(よこはまブランチ)

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル4階

TEL:045-633-5124
TEL:045-633-5204(デザイン相談室専用／月・水・金(隔週)のみ)

●地下鉄「関内駅」から徒歩約2分／JR「関内駅」から徒歩約5分
みなとみらい線「馬車道駅」から徒歩約7分

「お問い合わせ」はホームページからアクセスできます。**https://www.kistec.jp**

地方独立行政法人
神奈川県立産業技術総合研究所
本部:〒243-0435 海老名市下今泉705-1　TEL 046-236-1500　FAX 046-236-1525
https://www.kistec.jp

2022.11 発行 3,000

地方独立行政法人
神奈川県立産業技術総合研究所

Kanagawa Institute of Industrial Science and Technology
https://www.kistec.jp

中小企業のイノベーション創出を支援します。

基本理念

私たちは、県内中小企業を中心とする産業界から信頼される試験研究機関として、イノベーションの創出を支援し、県内産業と科学技術の振興を図ることにより、豊かで質の高い県民生活の実現と地域経済の発展に貢献します。

理事長
北　森　武　彦

行動指針

公設試験研究機関の新しいカタチを創ります。

☆新たな価値の創出
私たちは、人と技術が集まる創造の場を提供し続けます。

☆お客様に対して
私たちは、常に最善の方法を考え、最適な解決策を提供します。

☆組織づくり
私たちは、コミュニケーションを深め、
総合力を発揮できる環境をつくります。

☆自己研鑽
私たちは、プロフェッショナルとして技術と知識の向上に努めます。

概要

平成29年4月、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)は、公設試験研究機関の神奈川県産業技術センター(産技C)と公益財団法人神奈川科学技術アカデミー(KAST)が発展的に統合し、設立されました。
研究に強みを持つKASTと技術支援に強みを持つ産技Cが相乗効果を発揮して県内産業と科学技術の振興を図ります。また、企業支援ネットワークの中心機関として、**「研究開発」**、**「技術支援」**、**「事業化支援」**、**「人材育成」**、**「連携交流」**の5つの柱でお客様のご要望にお応えすることにより、豊かで質の高い県民生活の実現とお客様満足度の更なる向上に努めます。

■資本金　90億8013万2000円
(平成29年設立時)

■職員数　総数　195名
(常勤役員4名　職員191名[内研究職131名])
(令和5年3月31日現在)

■予算額　43億4700万円
(令和5年度)

KISTEC

ロゴマークに込めた思い

赤いラインはものづくり支援におけるホットな情熱(支援・伴走・寄り添い)を表し
青いラインは先端技術を追求するクールな知性(学術・探求・精度・正確)を表しています。
2つが接続することで、未来や新しい価値を創造する産業技術支援機関を象徴しています。

5つの柱 特に注力する事業等

連携交流

共創によるイノベーション創出の
機会を企業や大学等に提供する
「連携機会創出」
情報や保存するデータ等の共有、
人的ネットワーク等の強化を行う
「技術情報オンライン提供」

研究開発

有望な研究シーズを企業等
への技術移転などにつなげる
「プロジェクト研究」
先進的技術や創薬のための
評価法を開発研究する
**「ライフサイエンス評価法
開発研究」**

人材育成

ものづくり中核人材や
研究開発人材を育成する
「企業人材育成」
幅広い年齢層を対象とする
科学技術の普及啓発を行う
「科学技術理解増進」

技術支援

保有する技術・ノウハウを
駆使し、最適な支援を実施する
「試験計測」
ワンストップで
最適な試験・分析法を
提案・提供する
「技術開発受託」

事業化支援

高度先端設備等を
活用した製品開発支援を行う
「総合的な一貫支援」
社会ニーズの変化に即した新製品、
新サービスの開発等に取り組む
企業を総合的に支援する
「成長分野への参入支援」

4つの拠点

海老名本部
ものづくり総合相談、試験、計測、研究、研修、連携

総務部
総務課、給与厚生課、経理課
企画部
経営戦略課、情報戦略課
人材育成部
教育研修課
事業化支援部
支援企画課、橋渡し支援課
機械・材料技術部
材料物性G、材料評価G、ナノ材料G、
解析評価G、機械計測G
電子技術部
電子デバイスG、電子材料G、
電磁環境G、電子システムG
情報・生産技術部
設計試作G、システム技術G、加工評価G
化学技術部
材料化学G、化学評価G、バイオ技術G、
環境安全G、新エネルギーG、環境評価G

神奈川県立産業技術総合研究所

かながわサイエンスパーク(KSP)

神奈川
中小企業
センタービル

川崎生命科学・
環境研究センター
(LISE)

溝の口支所
技術相談、試験、計測、研究、研修

総務部
管理課
人材育成部
教育研修課
研究開発部
研究支援課
地域イノベーション推進課
川崎技術支援部
材料解析G
微細構造解析G
太陽電池評価G

殿町支所
**研究開発
(ライフサイエンス)**

研究開発部
地域イノベーション推進課

横浜相談窓口
**(よこはまブランチ)
経営と技術の総合相談、デザイン相談**

研究開発

新たな成長産業の創出

プロジェクト研究

大学等の有望な研究シーズを育成するプロジェクト研究を推進するため、
3段階のステージゲート方式により、長期間にわたる研究の進捗管理を行います。

三段階 ステージゲート方式

公募審査

目的基礎研究

戦略的研究シーズ育成事業（第1段階）

県の科学技術政策や産業振興政策に沿った研究テーマを公募し、研究シーズを育成する目的基礎研究を実施します。

予算規模　1300万円程度／年
研究期間　2年間
実施場所　研究代表者の所属機関

「未知を知る確率的AIチップの開発」、「高重力場における3Dプリンタの超高機能化の研究」、「非破壊画像検査用スマートシートの創出」等

審査

応用研究

有望シーズ展開事業（第2段階）

第1段階の研究プロジェクトの中から、研究シーズ展開が期待できるものについて、実用化に向けた応用研究を実施します。

予算規模　6,000万円程度／年
研究期間　4年間
実施場所　KISTEC（海老名本部、溝の口支所、殿町支所）

「再生毛髪の大量調整革新技術の開発」、「超分子ペプチドを用いた脳梗塞の再生医療」、「光スイッチ医療創出」等

審査

事業化・実用化

実用化実証事業（第3段階）

第2段階の研究プロジェクトの中から、早期実用化の可能性の高いものについて、企業等との共同研究の実績、提案公募型の競争的研究資金の活用等により、成果展開を図る実用化研究を実施します。

予算規模　2,000万円程度／年
研究期間　2年更新
実施場所　KISTEC（海老名本部、溝の口支所、殿町支所）

「人工細胞膜システム」「次世代医療福祉ロボット」等

国等の資金を利用した研究

社会的ニーズに応える有望な研究シーズを育成し、企業等の製品開発の支援を実施します。

- ■ 研究開発で生じた技術課題について、企業や大学等と共同で、あるいはKISTEC単独で、経済産業省やNEDO、文部科学省等の競争的資金を利用し、技術開発や製品の実用化等に関する研究を効率的に進めています。
- ■ 主な競争的資金の獲得・実施状況・・・Go-tech事業（経済産業省）、地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（文部科学省）、A-Step（JST）、CREST（JST）、さきがけ（JST）、次世代人工知能・ロボット中核技術開発事業（NEDO）、グリーンイノベーション基金事業／次世代太陽電池の開発（NEDO）、他

人工細胞膜チップを搭載する
薬物候補化合物の評価システム

重点課題研究

産業構造の転換や技術の急速な変化に直面する県内中小企業等の支援をするため、企業の既存事業の高付加価値化、新事業の展開につながる新たな製品やサービス、技術の開発を重点的に推進します。通信関連の技術開発や生産性向上等につながる研究開発にローカル5G等無線通信環境を活用しながら取り組むとともに、自動車産業のEVシフト等を見据えた高強度軽量材料の開発支援などに取り組みます。

ライフサイエンス評価法開発研究

神奈川県のライフサイエンス研究の中心である殿町を軸として、先進的技術や創薬のための評価法を開発研究し、新規技術の信頼性・安定性等の基盤確立に貢献します。同時に、大学や企業、県内外の優れた評価法を探索し、ライフサイエンスに関する評価法及び技術情報を殿町に集積していきます。

技術支援

技術課題の解決・品質の向上

技術相談

皆様の技術的な課題を解決するための技術相談をお受けします。

- ■ 相談は無料です。
- ■ 各分野の専門職員が相談に応じるとともに、解決に向けてKISTECの支援メニューをご提案します。

試験計測

製品・部品・原材料等の開発・改良に必要な分析・測定・加工等の各種試験を実施します。

- ■ 試験終了後は、結果をお知らせするとともに必要に応じ、説明および改善のためのアドバイスを行います。また、発行可能な場合には、成績書の交付を行います。
- ■ 既存メニュー以外の試験も実施可能です。

機器使用

お客様ご自身でKISTECの保有機器をご使用いただけます。

- ■ 各種工作機器、試験計測機器、分析評価機器、技術開発関連機器等をご使用いただけます。

※対象外の機器もありますので、お問い合わせください。

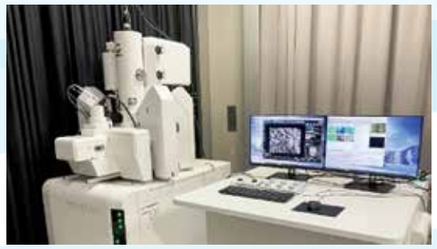
技術開発受託

企業の皆様に代わって、研究開発や技術課題の解決を行います。

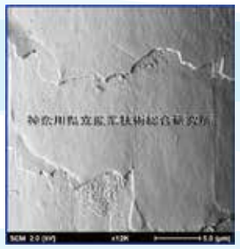
- ■ 結果は、報告書またはデータなどの結果資料により、お知らせします。

技術アドバイザー派遣

高度な専門知識を持つ専門家を派遣し、現地で課題解決のためのアドバイスを行います。
（初回無料、2回目以降有料）



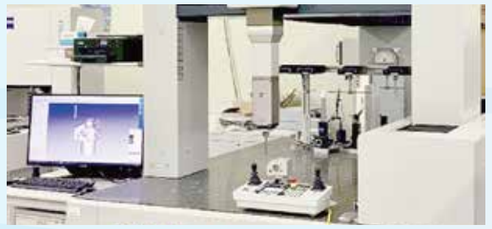
電子線マイクロアナライザ



集束イオンビーム装置（FIB）による
毛髪への加工例（当所名称を表面に加工）

ハイブリットレーザー顕微鏡

高速液体クロマトグラフィー質量分析装置



三次元測定機

評価法提供

KISTECが主体的に開発した評価法を産業界等へ提供し、新技術を用いた製品の信頼性および付加価値向上と競争力強化に貢献します。

- ・ライフサイエンス系性能評価（未病・感染症予防等）
- ・太陽電池性能評価
- ・高信頼性セラミックス評価

新型コロナウイルスを用いた抗ウイルス性能評価

事業化支援

新製品・サービスの創出

総合的な一貫支援

企業の開発段階に応じ、技術・デザイン・知的財産・経営・金融等の総合支援を行います。

■ 製品化・事業化支援

新製品の開発や商品化を行う企業に対して、確かな基礎研究を踏まえた製品開発・売れる商品の仕組みづくりに向けた、「製品化支援」「事業化支援」を行っています。

支援事例：CI デザイン・ブランディング支援

支援事例：スーパーナノ粒子化によるヘアケア製品の開発・事業化支援

■ 次世代事業創出デザイン支援

デザインを活用しながら、新事業創出、企業価値向上のための支援を行っています。KISTECの専門職員、デザイン・知財等の専門家と共に、顧客視点で付加価値の高い新製品、新サービスの開発支援を総合的に行っています。

支援事例：可触化デバイス

デザイン相談

皆様の様々なデザイン課題や、企業価値の創出にお役立ていただくため、デザイン相談を行っています。

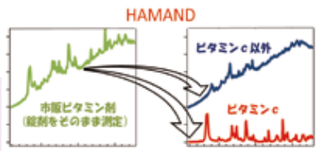
デザイン相談開催日：月・水・金（隔週）〈横浜相談窓口〉

事業化促進研究

中小企業等の開発ニーズを基に研究テーマを設定し、中小企業・大学等とKISTECが共同研究を実施します。

■ 事業化促進研究

今後成長が期待される産業分野において、中小企業等の開発ニーズと研究シーズのマッチングをコーディネートすることに加え、KISTEC が有する技術・ノウハウを活用することにより、事業化を促進します。



支援事例：ラマン分光を用いた
食品中の機能性成分の迅速定量装置の開発

成長分野への参入支援

デジタル技術に関する開発・検証環境の提供や、エネルギー、ライフサイエンス等の成長産業への参入支援を行います。

■ デジタル技術支援

デジタル設計・解析技術、機械学習技術等を活用したシミュレーション等による支援、企業におけるデジタル化や製品開発の効率化などを支援するほか、新機能を搭載した製品の開発を支援します。

■ 新たな社会ニーズに対応した事業化支援

KISTEC の技術を活用した評価法等により、社会ニーズの変化に即した新製品、新サービスの開発等に取り組む企業について、試作、評価等、技術面を中心に総合的な支援を実施します。

知財支援／ベンチャー創出・成長支援

- ■ 神奈川県知財総合支援窓口の外部相談窓口として、特許等の実務に精通した専門家が知的財産に関する疑問について無料で相談に応じます。　〈毎月2回：海老名本部〉
- ■ 知財戦略、技術移転活動、商標など様々なテーマで年数回知財セミナーを開催しています。
- ■ かながわテクノ会では、会員に必要な特許・実用新案情報を選んで提供します。
- ■ 特許流通コーディネータが知財活用／技術移転に関する相談、企業間マッチング、各種契約のアドバイス等、必要な支援を行います。
- ■ 研究事業の成果を活用し、企業と連携した実用化を目指す他、研究プロジェクトの成果を活用したベンチャー企業の発足も目指して活動しています。研究シーズの発掘・育成から実用化、ベンチャー創出等、一貫した活動を行っています。

人材育成

イノベーション人材の育成を支援

ものづくり中核人材育成

県内企業における技術力の底上げを支援するため、「製造開発人材育成」と「産業技術マネジメント研修」を行います。

■ 製造開発人材育成

機械・電気・化学・情報等の産業分野に関わる技術の基礎や開発の動向を学ぶ研修を実施します。

■ 産業技術マネジメント研修

品質管理セミナーをはじめ、品質管理、生産管理、作業改善、ISO内部監査員養成等、ものづくりの管理面を担う人材の育成を支援します。

研究人材育成

- ■ Society5.0、先進医療とウェルネス、環境・エネルギー、新しいモノづくりなど、新たな産業を牽引する分野に重点を置いた教育講座を開催します。
- ■ 数多くの研究成果の中から世界をリードするテーマとその先駆者として活躍する研究者を講師とするカリキュラムを企画・編成し、イノベーション創出を担う研究人材を支援します。

科学技術理解増進

- ■ 産業技術・科学技術に精通したボランティア講師を予め募り、理科や総合学習等の科目で実験、実演の拡充を望む県内小中学校や特別支援学校とこれらの講師とマッチングを行い、講師を小中学校等に派遣する「出前授業」を実施します。

- ■ 次世代を担う創造的人材を育むため、座学（理論）と実験・工作（実習）による活きた学習の場を学校授業外の時間に提供する「理科実験教室」、「夏休みおもしろ科学体験」等のイベントを開催します。
- ■ KISTECの持つ分析スキルを体験的に理解することができる「KISTECおもちゃレスキュー」等を実施します。

連携交流

ハブ機能の強化

【各機関との連携】

（県内に事業所を持つ大企業との連携）

■ 神奈川R&D推進協議会（中小企業支援機関との連携）

■（公財）神奈川産業振興センター（KIP）、㈱日本政策金融公庫、神奈川県信用保証協会と四者業務協力協定を締結しています。

■ ㈱ケイエスピーと包括連携協定を締結しています。

■ 公立鉱工業試験研究機関長協議会（公設試、国機関等との連携）

■ 首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ（TKF）（公設試、国機関等との連携）

■ 産業技術連携推進会議（産技連）（公設試、国機関等との連携）

かながわ産学公連携推進会議（CUP-K）

【フォーラム・Innovation Hub】

■ フォーラムでは、年間を通じて、対面式やオンライン等の様々な形式、各分野のテーマで開催し、技術情報の提供や技術連携を図ります。

■ Innovation Hubでは、KISTECや連携機関で得られた研究・業務成果をご紹介し、研究者・技術者等の技術交流・技術連携を図ります。

【YouTube公式チャンネル】

■ KISTECのYouTube公式チャンネルにおいて、取り組み事業の紹介や、技術支援事例・研究開発成果等の情報発信を行っています。

【KISTEC NEWS、メールマガジン等】

■ KISTEC事業や機器の紹介、最新の技術情報、イベント情報等掲載したKISTEC NEWSの発行、各種イベント情報等の提供を目的としたメールマガジンの配信を行っています。

【光触媒ミュージアム（溝の口支所）】

■ 光触媒に関するデモ機や応用製品の展示を通して、光触媒技術への理解を深め、また光触媒産業の健全な発展に貢献するべく、光触媒の普及・啓発に努めています。